



アリスちゃん、
スケベ大好き！

成年向

アリスちゃん、催眠大好き！

挿絵：chin

1.

「はい。私の家のドアをノックするのはどなたかしら。って、あら。知らない人ね。見たところ人間のようだけれど、こんなところでどうしたの？　ここは迷いの森、居るのは妖怪と妖精と頭のおかしい人間だけよ。あなたの頭が正常だと仮定すると、迷子にでもなったのかしら。……仕方ないわね、上海、ちよっといらつしやい。この人間を、森の外まで案内してあげてちょうだい。できるわね？　うん、よし。あとは、この人形に付いていけば、外に出られるから。もう迷い込んできたりするんじゃないわよ。え、お礼？　いいわよそんなもの。珍しい魔法を見せる？　ふうん、人間風情が、魔法使い様に一体どんな魔法を見せてくれるっていうのかしら。へえ、催眠術って言うの？　いいわよ、試しにやってみせなさいよ。3、2、1……んー？　何も起きないじゃない。あはは、失敗したのかハタタリだったのかは知らないけれど、そんな突飛な真似はやめた方がいいわよ。気性の荒い妖怪相手にそんな真似をしたら、ただじゃすまないんだからね。それじゃあさようなら、もう多分二度と会うことは無いわね」

2.

「はい。私の家のドアをノックするのはどなたかしら。って、あなた、昨日の……まさかまた迷ったとか言わないでしょうね。私に会いに来た？　は？　何言って……あ……ん……そうね。少なくとも来客なんだもの、それなりにもてなしてあげなくちゃね。と言っても床の上は痛いから……ベッドの上がいいかしら。付いてきて。ええ、ここが私の部屋よ。少女趣味？　悪いかしら、私、ご覧の通り少女のつもりなんだけれど。まったく、こんなデリカシーの無さそうな相手にお出迎えしなくちゃならないなんて、作法とは言え気が進まないわね。よいしょ……」

……と。服を脱いで……と。きやあつ！　何触ってきてるのよ！　ブラジャーを外そうとしてあげた、ですって!?　余計なお世話よ、この変態！　二度と気持ち悪い真似しないで頂戴！　全く、不細工で不調法、ろくな客じゃないわね……よし、全裸になったわ。ちよっと、じろじろ見ないで頂戴。私はあくまで作法に則ったおもてなしのために脱いだのであって、それをそんなイヤらしい目で見られるのは

心外だわ。ふんっ。それじゃこのまま、ベッドの上にちょこんと座って、ゆっくり頭を下げて……額を擦りつけて♡ 全裸土下座♡ 私、アリス・マーガトロイドのみすばらしい家に、ようこそおいでくださいました♡ 何も無いつまらないところですが、主人たる私がムチムチ少女ボディ屈従土下座にて歓迎させていただきますので、どうぞゆったりとおくつろぎください……♡」



アリスちゃん、スケベ大好き！

「ふっ♡ んふううっ♡ うっ♡ ふううっ♡
もうっ♡ こんな、プライドを投げ打ったような
ご挨拶をしなくちゃならないなんて、幻想郷のル
ールにも困ったもの、だ、わ♡ あ、ああ、あ♡
でもどうしてかしら、こんなの凄くイヤなはずな
のに、身体が熱くなつて……興奮、してきちゃう
っ……♡ あ、はいっ♡ 外を歩いてきて、おみ
足が汚れておいででしょう♡ 私のこの、さらさ
らの金髪を、どうぞあなたの足拭きマットとして
お使いください……♡ ひいいいい♡ わ、私
の頭が、ぐりぐり踏まれてるっ♡ 汗と垢で汚ら
しいべちよべちよの足に、私の自慢の金髪が汚さ
れてっ……♡ あっ、あああ、あっ♡ 屈辱的す
ぎて、ん、ひっ♡ っ、いっ♡ マンコきゅんき
ゅん来ちゃうっ♡ 後ろからまる見えメス穴がと
ろろほかほかしてきちゃうっ♡ あうっ♡ 容
赦なく踏みつけられて、へっ、ハヘッ♡ 情けな
くて悔しくて涙が出ちゃうほどののっ♡ オ
っ♡ お、おっ♡ イグっ♡ イッちやうう
うっ♡ ひっ、んひっ、いっ♡ 全裸土下座で
オマンコイグっ♡ あっ、あああ、アクメ来るア
クメっ、踏まれアクメっ♡ 自分の部屋で全裸土
下座しながら見知らぬ人間に頭をゴシゴシ足拭き
マットにされて屈辱アクメっ♡ 究極へりくだり
おもてなしアクメエっ♡ んぎイっ♡ おっ、
オオオオっ♡ あっ、イグっ、イグっ♡ アリス
イグううっ♡ ほっ♡ オオオオオーっ♡」



3.

「はい。私の家のドアをノックするのはどなた
かしら。……あら、あなた、また来たの？ え、
この間のおもてなしが気に入った？ ふうん？
私としては、ごくごく普通に歓迎の意を示しただ
けなのだけれど。ま、喜んで貰えるなら、私とし
ても悪くない気分だわ。それで今日は、どうした
の？ え、お礼？ そんな、別に気を使わなくて
いいのに。ま、くれるというなら有り難く貰うけ
れど……って!? ちょっとあなた、いきなりズボ
ンを降ろし始めて何してんのよっ！ ヒッ……！
や、やだ、穢らしい！ そんな醜い、いきり立
ったものを見せつけてこないでっ！ 魔法使い相
手にふざけてるの!? 殺されても文句言えない
わよっ……えっ……あっ……？ あらやだ、ごめ
んなさい。そうよね、最高級の生チンカスチーズ
を持ってきてくれたのよね？ こんな素敵な贈り
物を持ってきてくれたのに、取り乱しちゃって、
ごめんなさいね……？ お、怒った？ そう。そ
れなら良かったわ……♡ あなたの寛大な心に感
謝するわ。ん、じゅるっ……ごくりっ♡ それに
しても、うふっ♡ あなたの包茎ポッキンポ……♡
……♡ 見ているだけで涎が溢れて来ちゃう……♡
その分厚くて頑丈そうな包皮の中に、どれだけ大
量のメス狂わせ恥垢を抱え込んでいるのかしら……
……♡ えっ？ 今、ここで、舐めろですってっ!?
さ、さすがにそれは……あ……そ、そうよね、チ
ンカスは思い切り下品に舐り取るのが作法だもの
……♡ 玄関先で、跪いて、鼻息を荒げながら……

アリスちゃん、スケベ大好き！

…アリス・マーガトロイド、即尺♥ 玄関開けたら一分で即尺♥ 美味しそうな包茎デカマラ♥ 有り難くばっくりんちょ♥ させてもらうわね…♥ ふーっ、むふうっ♥ まだ剥いても居ないのに芳醇な香りが漂って来てエ…ハアッ♥ たままないわ…♥ 作法でなくても淫らに振る舞っちゃいそうよ…♥ ね、お願い。少しこのまま、じんわりとあなたのチン臭を楽しませてくれるかしら？ すんっ…すんすんすんっ…♥ くはああ♥ 腐った生ゴミみたいなチンポの香りイ〜♥ 脳神経が麻痺しちゃうわ…チンポに鼻先くつつけて、このままずうっと匂いを嗅いでいたい…♥ むへえっ♥ すごおっ♥ これヤベえ♥ あはっ、はああ♥ もうちよつとだけ、嗅がせていさせて…♥ くんくんくんっ…んへああ♥ ……フギッ!? 不意打ちで全剥きッ♥ おおおッ♥ 匂いきつすぎッ♥ ンガッ♥ 脳にダイレクトに刺激ッ♥ チンカス♥ チンカスっ♥ ふごごごっ♥ ヤッベっ♥ ヤベッ♥ これヤベえ♥ 頭の中全部チンカス臭に占領されちゃうッ♥ アリスちゃんの乙女思考回路がチンカスっ♥ チンカス化されるっ♥ あああ♥ 亀頭に膜みたいにへばりついた濃厚白褐色オスチーズっ♥ あなたの、あなたの、チンポカスうううっ♥ おおあうっ♥ ペロペロ、ペロペロ、ペロペロしたいっ♥ 舌出して涎出してお預け限界欲情エロ顔晒しちゃうっ♥ い、い、いいわよねっ♥ これ、全部、私のものにしていいのよねっ♥ チンカス独占してもいいのよ

ねっ♥ は、は、早く領きなさいよっ…あああうっ涎垂れちゃうっ♥ はあああっ、ああああ♥ チンカス、おおおっ♥ チンポっ、チンポおおお♥ 丁寧にちゅばちゅばするからあ、チンカス全部刮ぎ取ったあとあなたが満足するまで下品口マンコ奉仕してあげるから♥ アリスにあなたのクッサイコテコテチンポチーズごちそうしてえ…♥ あっ今領いたわね領いたわよねっ♥ もうダメもう遅いわよっ、あうんっ♥ いただきまうっすっ♥ ほぶっ、ほぶうぶずじゅるるるるるっ、ずぶじゅるるるるるるうううっ♥ じゅるじゅるじゅるずじゅるずじゅるぼぼぼっ♥ じゅぶるるるるるるるるるるおっ♥ れるおっ♥ びじやれるぢゅるるるるるおっ♥ おほおおおおおおおっ♥ 濃いつ、濃いつ、濃すぎるうううっ♥ のほっ♥ オっ♥ こんな素敵な濃密凝縮オスカスチーズっ♥ 味わえるなんて♥ 幸せ♥ 幸せ♥ 舌が幸せ♥ マイペロハッピネス♥ はああああ♥ あなたの亀頭を乱暴にべえろべえろ舐め尽くして、いっぱい美味しいの貰っちゃった…♥ ほら、私の舌の上を見て？ あなたのえげつない味の黄色チンポカスが、こんもり…♥ これえ、いっぱい、口の中で、ぐっちよぐっちよして、味わってエ…おオオ♥ 味覚がビリビリって狂っていくの分かるわ♥ 味蕾が一つ一つ丁寧にチンカスに占領されていっちゃうの♥ 私の少女口が全部あなたのチンカスのものにされちゃう…もうあなたの恥垢がないと日々暮らせなくなっちゃう…♥ はあああ♥

まるで麻薬だわ…おおっ、おおお♥ こうして口の中でぐちゅぐちゅ転がしているだけでも、んっ、んふぐっ♥ 多幸感溢れて止まらないわアうっ♥ んっ、ふぐっ♥ こ、これ、嚥下しちゃったら、どうなるのかしらっ♥ ふっ、ふひっ♥ んふっ♥ だ、ダメよアリス、私は高貴な都会派魔法使いなのよ、いくら何でもあんまり無様な姿は晒せないわ、だから、慎重に、覚悟を決めて…♥ ごくんっ♥ んっ♥ ぐっ♥ うっ♥ んぐ♥ ぐっ♥ ぐふっ♥ ぐひゅうううううっ♥ オっ♥ イッてるっ♥ イッ♥ イッてる♥ 私♥ オスチンカスを貪り喰ってイッて、る♥ 全身震わせて♥ イグ♥ イグ♥ チンカスィグうううううっ♥ むふっ、ぐふうううううっ♥ えっ、我慢してるせいで凄く笑顔してるですってっ!? う、う、うるさいわねっ、こんな美味しいチンカス舐めさせられたら、女の子なら全員こうなっちゃうわよっ♥ 仕方ないでしょうっ♥ むふっ♥ んうっ♥ ううううう♥ ぐふっ♥ うふううう♥ はあっ…少し落ち着いたわ…♥ ちよつと情けないところを見せちゃったけれど、本当に有り難う…ね。こんなにいいものを貰えるなんて思ってもいなかったわ。これは、何かお返しを考えないと…あ、そうだ、そうよね。まずはあなたのオチンポをちゅばちゅばしてあげるのが先よね？ 下品に唇をすばませて、あなたの目をじーつと見つめながら、あなたのそのたつぷりしたいやらしい精果が空っぽになるまで精子搾り取ってあげるわね…♥ まだチンカ

アリスちゃん、スケベ大好き！

ス味が残っているかも知れないし、カリ首もじつくり舌先で削ぎ削ぎしてあげる……♡ んふっ、んふっ♡ じゅるるるるるるるるるる♡ どうかしら、私の下品顔スケベフェラは……♡ 高速唇にゅぽにゅぽピストンもしてあげちゃう♡ 気持ち、いい？ チンカスのお礼だもの、遠慮なく、いっぱい、出して、ね♡ じゅぽっ♡ ぶじゅるるるるるるるるるる♡ ぶじゅるるるるるるるるるる♡ むふーっ♡ ふーっ♡ じゅるるるるるるるるるる♡

4.

「はい、私の家のドアをノックするのは……やっぱりあなたね。ふふ、ノックの調子で大体分かるようになったわ。さて、タイミングの良いときに来てくれたわね。ちょうど、あなたへのお礼が準備できたところなのよ。もちろん、受け取ってくれるわよね？ ふふ、良かった。それじゃあ、はい……♡ ショーツをずらして、スカートを持ち上げて……びいんってチンポ露出っ♡ アリスちゃんの包茎ふたなりチンポと、熟成チンカスチーズ、ご披露♡ こんなに溜めるの大変だったんだから、光栄に思ってたよね？ それで、ど、どうかしら。お気に召して貰えてる……？ あひっ♡ こ、腰掴まれたっ♡ に、逃げ、逃げられないっ♡ 気に入って貰えたのはその態度で十分分かったから、やややや、優しくね♡ 超敏感ボギンポギン禁欲チンポ♡ 優しくしてね♡ チンカスと同時にザーメンも溜まりまくってるから、ちよつとの刺激で背筋が痺れるほどチンポ快感が走っちゃうの……♡ 腰砕けして射精しちゃうの♡ だから、慎重にお願い……のっほ、オオっ♡ 優しくしてって言ったのにつ、いきなりそんなんっ、チンポがっちり掴んで包皮全剥ぎイイっ♡ おっ、オオオっ♡ 剥け、剥けチンにつ♡ アリスの少女剥けチンポにつ♡ 空気が当たってツライッ、つらいのっ、敏感ズル剥けチンカス龟头に空気の流れ厳しいッ♡ 厳しいっ♡ 早く、早く、舐めて、しゃぶって、チンポをお口の中にしまつてエエっ♡ 新鮮チンカスが乾いちやう前にあな

たの舌で味わってよおおおっ♡ ほっ♡ おオオっ♡ によほおおお♡ 来た、来たわ、オホー♡ とろけるううう♡ べろべろって高級メスチンカスを舌で削がれて、によほ♡ ぎもちいい♡ これぎもちいいわあああ♡ ほひっ、ホヒ♡ アホ面晒して腰をカクカク振っちゃううう♡ マーガトロイドチンポアヘツラあ♡ ヒーッチンカス削がれるっ♡ ヒーッ♡ 龟头感覚痺れるうううう♡ ヒーッヒーッヒーッヒーッ♡ いひひひひひッ♡ はああああ♡ 不潔オチンポしゅつきりしちゃうっ♡ とろけオチンポマジ超気持ちいいわあああ♡ ほひっ♡ ほひひひっ♡ あ、あ、ごめんね、ごめんなさいね♡ ザーメン♡ ザーメン出ちゃうかも♡ あなたがチンカスを味わっている最中だっというのに、ぶびぶびってエッチお漏らししちゃうかも♡ だってだってチンポ気持ち良すぎて♡ チン舐めでアヘアヘしすぎてええ♡ 我慢、出来そうに、ないっ、わっ♡ えっ？ チンカスを全部舐め取り終えるまで待て……？ どのくらい待てばいいの？ えっ、十分以上っ!? 無理っ、そんなんの無理無理無理無理っ、絶対無理っ♡ ほぐ♡ おううううっ♡ 無理よおおお、耐えられないっ……えっ、じゃあ口を離すですってっ!? それはもつとダメエエっ♡ ええいもうこうなったら実力行使っ! あなたの頭を掴んでイラマチオさせちゃうっ♡ ほーっ、オーっ♡ 出るうううっ♡ 出ちゃうっ、あなたのお口に用足ししちゃうっ♡ あなたへのお礼のつもりだったのに

アリスちゃん、スケベ大好き！

ごめんねこんなのホントにごめんねっ♡ でももう無理我慢できないっ、無理無理無理無理無理イイイっ♡ ほふううううっ♡ イグっ♡ あーっ♡ ああああーっ♡ あっはあああ

でびゅりっ！ でびゅぶびゅりゅぶびゅりゅっ！ でびゅっ！ ほっびびゅりゅりゅるうろっ！

「あゝっチンカスマラアクメえええええゝ♡ マガトロとろつとろゼリーザーメン、あなたのお口に容赦なく注ぎ込んでる♡ ふひ、いひ、ひいひいゝ♡ オスのお口をチンポで犯すの、癖になっちゃうよおお♡ あ、あひっ♡ え、こんな酷いことをしたのに、まだチンカス舐め続けてくれるのっ♡ オッ♡ イキたてオチンポのカリ首を舌先でほちほちい♡ こんなっ、刺激強すぎて、あひひひひひえええええイグっ♡ またイツちゃううう♡ 今度はチンポを逆レイプ恥垢フェラされながらイグっ、あああああゝっ♡ ちいんぽおおおっ♡ アリスチンポ気持ちよすぎいいいいっ♡ アホ声出して悦びまくっちゃうう♡ うひっ♡ いひひひひ、うっひっ♡ あひひひひひっ♡」

アリスちゃん、スケベ大好き！

5.

「はい、私の家のドアをノックするのは……って待ってちょっと待って今ドアを開けちゃダメよっ……ああもうっ、ダメって言ったのに！ ご覧の通り、今私は、ボディコンスーツを着てるんだからっ……誰かに見られたりしたら、エロダンスを踊って見せなくちゃならないじゃないのっ。全くもうっ……本当にしようがないわねっ。んっ……ふっ♥ 手にしたセックスを捻じて、腰を前後に、くねっ、くねっ……♥ くい、くいっ♥ はあ、もう、どうして私がこんなビッチで変態な真似をしなくちゃならないのよ……♥ まるでこんなの、ハメ乞い……♥ オスチンポが大好きで、オスチンポのためなら何でもしちゃう、オスチンポ誘惑ダンス♥ ほら、腰に回転をかけて、ぐねぐねぐりっ♥ このマガトロ少女マンコの中にチンポ突っ込んだらきつと気持ち良いわよ、いっぱい腰フリご奉仕するわよって言わんばかりの、変態ガニ股服従ダンスっ……♥ おおお、屈辱だわ、こんな……♥ 両腕もあげて、腋の下も見せちゃうっ……汗だくで発情しきった身体を、あなたにアピールしなくちゃならないなんてっ……♥ ふーっ、んふーっ♥ ふうううううっ♥ むふっ、ふうううううっ♥ 段々と、身体が火照ってきちゃったわ……えっ、ち、違うわよ、性的興奮って意味じゃないわよっ♥ ぐりぐりぐりって腰フリしながらエロ躊躇っ♥ エロ躊躇からのガニ股ア♥ こんなスクワット運動させられたら、誰だって汗だくになるわよっ……♥ ほおお、おおっ、

はへっ♥ マンコがとろってしてきちゃうっ♥ くうううううっ♥ にやけッラ見せてるんじゃないわよっ、睨みつけてやるわっ♥ こうして腰をクイクイさせて見せつけるように回りながら、射殺すつもりで睨み付けてやるっ♥ んぐっ、ふうううう♥ ふはっ、はあああああっ♥ もっ、ダメ、表情、保てないっ……♥ 後ろを向いて、Tバッククイコムチケツ見せながらフリフリクネクネ尻誘いするから、あんまり私の顔を視ないでっ♥ あっ、あっ、でもダメ、尻に視線感じて、オツ♥ 疼く、疼く、私のメスがズキズキ疼くッ♥ 尻から子宮に性欲直撃しちゃうっ♥ んふっ♥ んぐうう♥ ああもう、本当にもうっ……♥ そうよっ、あなたの言うとおりで、もう私のオンナは発情しまくりよっ♥ こんなに悔しくて情けないのに、おとおっ♥ ボディコンエロダンス見せっけで、マンコトロトロ♥ マンコトロイド♥ あっ♥ もう滅茶苦茶に腰フリしちゃうっ、パコパコパコパコ、チンポ食いアリス腰見せつけちゃうっ♥ パコリたいっ♥ パコリたいっ♥ パコられたいいいいいっ♥ ひいーっ♥ お汁が溢れ出して止まらないわっ♥ 濃厚とろっとろメス汁が漏れて、水たまり作っちゃううううっ……♥ もう、これは汗よって誤魔化しきれないくらい、股間がぐちよぐちよ♥ マン汁ダンスっ♥ ボディコン纏って下品なセックス乞いマン汁ダンスううううううっ♥ ふうっ、うふっ、むふううううううううううっ♥ ああ、もう♥ もういい、もういいわっ♥ ほら、あなた、ちよっとこっちに来

なさいよ……あなたの目の前でアリスちゃんドスケベダンスを見せてあげてあげるわよ……♥ その代わりい……♥ 興奮しきった私に、逆レイプされても♥ 恨まないでよね……♥」

♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥

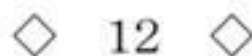


♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥

♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥

「はい、私の家のドアをノックするのは……ま
予想通りあなたよね。今日は何の御用かしら。あ
ら？ 服のプレゼント？ へえ……うん。嬉
しくないわけじゃないけれど、私、こう見えても
ファッションセンスにはちよつとうるさいのよ。
だから、微妙な反応を見せちゃってもごめんなさ
いね。それで、どんなのかしら……ワオ♥ こん
な、チンポまる見え穴あきレオタードだなんて……
…素晴らしいわ♥ ふふ、前言撤回、あなたって
素敵なセンスを持ってるのね♥ へえ、ふう
ん♥ おっぱいの所にハート型の穴が開いていて
蝶ネクタイがついていて、とっても下品♥ あ
ら？ セックスだなんて書かれてる♥ ふふ、
ホントいやらしくて、私の好みにびったりだわ……
…♥ ねえ、これ、早速着てみていいかしら……
…♥ うふ、有り難う♥ それじゃ、着替えてく
るから、ここで待っててね……♥ つと、さて……
…？ あふっ♥ きつつい……体中が締め付けら
れるかのようだわ……♥ チンポを股間の穴に通
して……ロング手袋とストッキングも着て、と……
…ついでにブーツも履いちゃいましょう♥ あは
っ♥ アリス・マーガトロイド、完全チンポ露出
変態モードのできあがり……♥ お待たせつ……
…♥ どうかしら、この格好？ 似合ってる……
…？ あらそう、嬉しいわ♥ 私もこんな、スケ
べで美しい衣装で自分を着飾るのなんて、初めて
だから……ドキドキしちゃうわ♥ もう、チンポ
も興奮してエっ……♥ ズキズキビキビキしてる

ふふふっ♡ あなたのチンポペットにされちゃうの♡ そんなの、ダメ、ダメダメダメっ、あーっ♡ チンポ興奮止まらないっ、ふぐっ、うぐっ♡ 熱いのが迫り上がってくるっ♡ おっ♡ ヤバっ♡ ヤべっ♡ んふっ、うふうううーっ♡ えっ!? そんなトロトロテレテレしたアへ顔じやダメ……? そ、そうね。私は自分の意志でチンポ露出する誇り高い変態スケベですもの。高貴な乙女らしく、き、毅然とした顔で……ンフッ♡ で、でも、ちよつと思っただけけど……こんな、しつかりした顔のまま、常識外れの下品衣装を着て、あなたにチンポシコって貰っていたら……さつきよりもよっぽど、救いがたい変態に見られちゃうんじゃない、かし、らアっ♡」



アリスちゃん、スケベ大好き！

「あっ、あっ、あっ♥ 私の目の前で握った手を上下に見せないでっ♥ そんな手つきで、私、エロエロ少女チンポシコられちゃうんだっ……♥ 町中を歩きながら、恥知らずにポッキしたチンポを気持ち良くさせられちゃうんだ、快感センズリされちゃうんだあっ……♥ ああああ♥ ぐねぐねって指先が動いてるううっ♥ あんな風に、巧みにチンポの弱いところを刺激されちゃうんだっ♥ 皆の見ている前で、こうして堂々と立ちながら、エロポッキをギインって張り出させて、そして真面目で高潔な表情を崩さずにっ……ふぐぐううううっ♥ すこっ、オッ♥ そんなの考えただけで♥ あ♥ ヤベ♥ イグ♥ イングっ♥ ふぐっ♥ 恥ポッキ露出してマゾイギっ♥ 変態イギっ♥ チンポアクメっ♥ キンタマから発情汁昇ってきちゃう、漏れる、漏れ、いやらしチンポ汁漏れえええっ♥」

でびゅるるうっ……ぶびゅるるるうう……
でびゅっ、ほぶっ、ほびゅう……

「おおおおっ♥ ねっとりした汁っ♥ 漏れてるっ♥ 出ちやってるっ♥ 無刺激アクメでねっとりこつてり激臭アリス汁っ、どろどろって垂れ流しいい♥ ほっ、ほおっ、おおっ、ほおおーっ……♥ あはっ、はひっ、はへっ、はへええええ♥ こんな快感っ、初めてえ……♥ 私ったら早速、このエロ衣装のユーザーにふさわしい変態ドスケベ行為を、しちやって、る、わっ♥ オ

オオオ♥ まだチンポイグ、垂れ流しの世界一だらしないうー射見せ続けちゃうっ♥ もうっ、表情、保ってられないっ♥ おおおおおっ♥ 何もしないままチンポ汁どろりんどろりいん♥ ほひいひい♥ ほひっ、ほひいひい♥ 自分のしていることが変態すぎて、あっ♥ またイグっ、自家中毒チンポアクメっ♥ マガトロ乙女チンポイグイグ、見られながらイグ、イグううううんっ♥ おおおおお♥ 変態衣装で乙女ポッキイギいひんっ♥ チンポ露出妄想で射精、良いいっ♥」

9.

「は♥ あ♥ い♥ 私の家のドアをノックするのは……ん、ヒイっ♥ こんな時にあなたが来ちゃうのおおッ!? い、いひ♥ 何でも無いわ、こほん、気にしないで♥ いらっしやい♥ いつも通り、歓迎するわ、ね♥ それで、今日は何? あら、特に用事はなくて、単に遊びに来ただけなの。そ、そう。えっ? 何だか挙動不審だっ? そそ、そんなわけないじゃないっ、私も、今日は珍しく何も無いわ。だからその、ゆっくりしていきなさ、いっ♥ おっ♥ ううん、だから、何でも無、い、わ、よっ♥ ふうっ……実は、今朝から体中の神経が敏感で、気が狂いそうなほど体中がふわふわびりびり気持ちいいんだけど、こんな恥ずかしいこと言えるはずがないじゃないっ……! クイコミがキツイから、パンツも履けないし……! だ、黙っておきましょう……んふっ♥ うっ♥ ちよっと身体を動かすだけでも、肌に衣服が擦れてっ……きゅふううううっ♥ こ、これは、椅子に座って、おとなしくしてましよう……ほふっ♥ おっ、おふうっ♥ やっぱりこんな、アリスのムチムチ乙女肉体、変、変よ、こんな、ドキドキしまくって、ひ、ああ、ああ、ア♥ こいつが来てからますます感覚が鋭敏になったみたい……♥ 太もも同士が擦れるだけで、ビビビって気持ちいいのが走っちゃうっ……♥ だらしないけれど、大腿開いて誤魔化すしか、ないわねっ……♥ あああ♥ パンツ履いてないのがバレちゃうかもっ……♥ ひっ♥ んっ、んふっ、うう、

アリスちゃん、スケベ大好き！



うふううっ♡ な、何よ、こっちをじーっと見つめてきたりして……♡ そんなに熱く見られると、私まで変な気分になってきちゃう、じゃ、なヒ♡のお♡ えっ？ ちょっと何よ、こっち来ないで……近づかないで……今、触られたりしたらっ……んひやああああっ♡ あっ……駄目♡ 腕を掴まれただけでっ♡ ヒッ♡ イグっ♡ イッちやっ♡ イッちやっったっ♡ 潮噴いてイッ、イッたっ、座ったまま絶頂っ♡ あああ♡ あひっ♡ はへえええっ♡ オッ♡ やだ、腕を掴んでどこに行くのっ……♡ ペ、ベッドっ♡ ちょっとっ♡ ダメよっ、ダメダメダメ、ダメそんなっ……ああああああ♡ お尻べろんって撫でられたらっ、また体中がビグビグ痙攣してっ♡ いひ

っ、イグっ♡ もう力入らないっ♡ 為すがままにされちゃうっ♡ アリスの少女むちむちボディがあなたのされるがままになっちゃううううううっ♡ はあああああっ♡ ベッドに、押し倒されてっ……ひうううううっ♡ 背中の振動っ、スゴッ、イクッ、ベッドでイクっ♡ こんなので気持ち良くなっちゃううううっ♡ ひiiiiiiiiっ♡ あっ、やだっ、足を持ち上げないで♡ ノーパンイキまくりでぐちよとろになったアリスの金髪アンダーヘア乙女マンコ、ガン見しないでえっ♡ えっ、何、まさか、このまま、レイプしちゃうのっ!? 私、いきなりレイプされちゃうのっ!? んひiiiiiiiiっ♡ ポッキオスマラ丸出しにしてっ、やる気満々じゃないのっ♡ ち、ち、違うわ

よ、ノーパンだったのはあなたのチンポを誘惑していたわけじゃなくってっ♡ 部屋中にメス臭をふんだんに振りまいていたのでは不可抗力であってっ♡ と、とにかくダメ、ダメよ、ダメだから、ね？ やめて、やめ、やめて、ね♡ お願い♡ 今、私の敏感じゅくところ乙女穴にチンポ突っ込まれたりしたら、絶対おかしくなっちゃうわ♡ だから勘弁して、ね♡ マンコ勘弁して、勘弁してエっ♡ やめ、や、やあああああっ♡

ずぶうううううっ！

「のひiiiiiiiiいっ♡ やめてっ♡ 言ったのにiiiiiiiiいっ♡ おっ、ごとおおとおおっ♡ イグッ♡ イグッ♡ イグッ♡ イグッ♡ マンゴイグマンゴイグマンゴイグううううっ♡ イキ狂うううううううっ♡ はひっ、はっ、はひっ、はあああああーっ♡ 脳が快楽刺激で焼き切れて死んじやう、こんなの死んじやう、マガトロアクメ死イイイっ♡ のほおおおおおっ♡ 腰を抱え込まれてずっぽんずっぽんっ♡ チンポ出し入れええええっ♡ すこっ、凄すぎ、すこっ、オオオオっ♡ 敏感すぎボディがっちりプレスされてえええええ♡ 絶対逃げられないのっ♡ オナホにされてるっ♡ 生ハメ大型オナホにされてるううううっ♡ ぶっといチンポでズボンズボンされるたび馬鹿になっちゃうううううう♡ あへえええええっ♡ も、もうっ、イキまくりで、訳が分からないわっ♡ キュンキュン

アリスちゃん、スケベ大好き！

キyunキyun膣穴が締めまりまくりで、射精促して
るっ♥ マンコがあなたのチンポに媚び媚びイ
っ♥ オスザーメン欲しがって物理的おねだりし
てるっ♥ いや、いや、このまま中出しなんてさ
れたら、あああ♥ 受精阿克メ♥ アクメ受精♥
孕ませ絶頂させられちゃううううっ♥ それはさ
すがにイヤ、絶対イヤっ、出さないで、中には絶
対出さないでっ……おっ♥ おうっ♥ 深いピ
ストン来てるっ♥ 敏感阿克メボディをがっちり
抑えつけないが、貪りチンポピストンっ♥ やだ
っ、やだやだああ♥ 絶対こいつ私に種付けキメ
るつもりだわっ♥ ダメよ、そんなのっ、オッ♥
ほおおおおおおおっ♥ 深いところガン突きイ
イっ♥ 子宮がガンガン揺られて、あっあへええ
ええっ♥ 快感凄すぎるのっ、オオオオオっ♥
理性が陥落しちゃうっ、セックス快感に負けちゃ
うううううっ♥ だ、だめ、負けない、絶対負
けないっ♥ 歯を食いしばって耐えっ、あっ、は
へえええ♥ あひっ、んふっ、んふひひひひ
っ♥ えっ？ な、何よ……え？ 理性が勝とう
が負けようが種付け射精はする？ そ、そそそそ、
そっかあ♥ そうなのねっ♥ ……じゃあも
う負けでいいわあああああっ♥ あっっ♥ あ
はああああっ♥ レイプされるのぎもちよすぎ
いいいいっ♥ 負け負け負けえええええ
っ♥ 敗北アリスマンコにチンポの絶頂汁を出し
て出して出してエエエっ♥ 熱くて濃くてギトギ
トのオス汁でっ、アリスのびちびち子宮をいっば
いに満たしてっ、あなたのチンポ汁で私を占領し

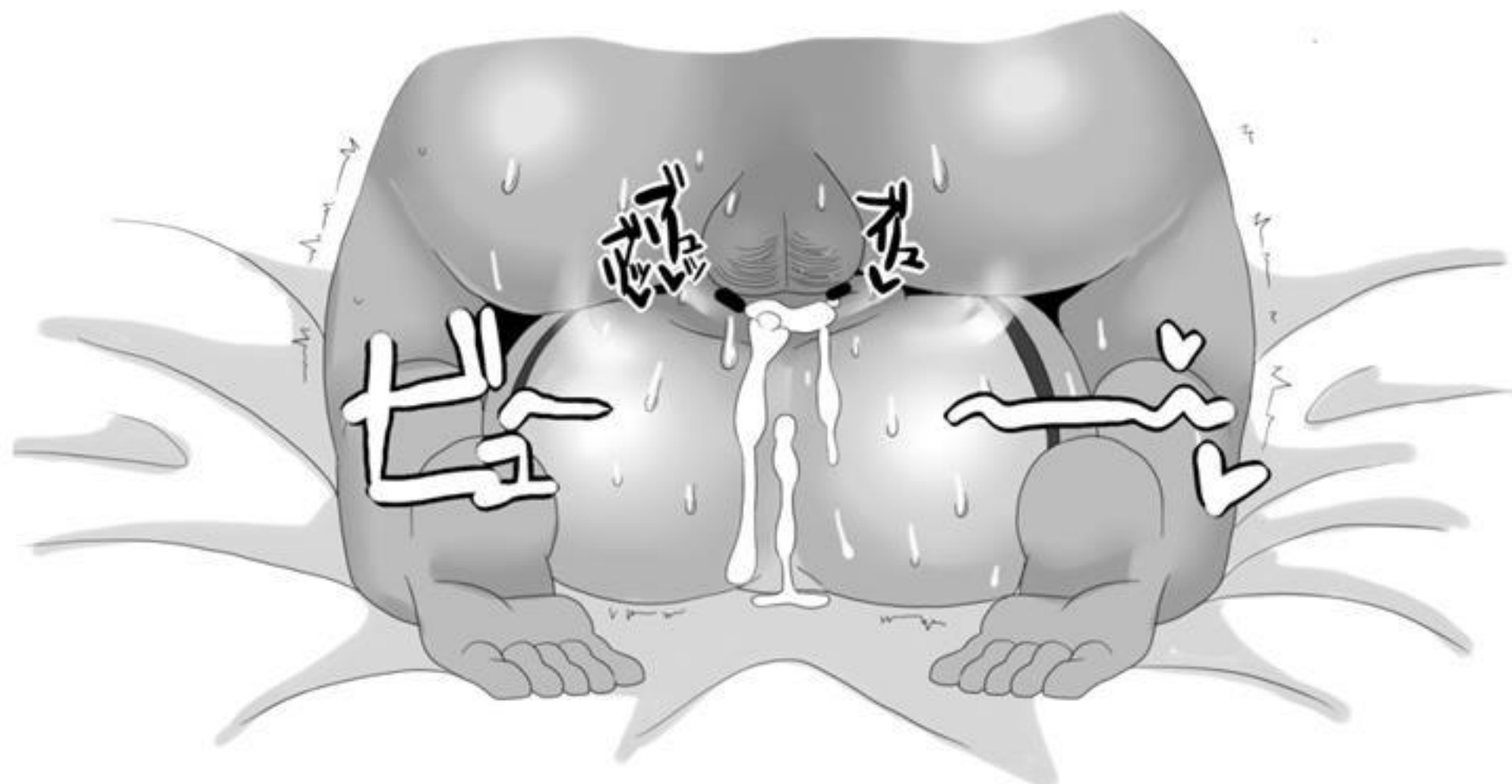
てエエエエっ♥ ほおおっ♥ オオオオオお
おおおっっ♥

でびゅるびゅっ！ びゅるううううっ！ っ
びゅるううううっ、びゅるるるる！

「おうっ♥ ほうっ♥ ああっ♥ はあああ
あっ♥ イグ♥ イグ♥ 種汁排泄されてイグ
っ♥ 汚い男の汚いキンタマ汁をどぼどぼ注がれ
てイグっ♥ アリスイッちゃうっ♥ うっ♥ う
はっ♥ はほひひひひひひっ♥」

ビクン！ ビクン！ ビクン！ ビク
ン！

「あああああ♥ はあっ、あっはああああ
っ♥ いっぱい中出しされてへえええっ♥ イ
グ♥ イグ♥ イグまぐつちやったああああっ♥
え？ ま、まだするのっ？ 今度はおっぱいと
も弄る？ や、やめて♥ 今度こそ身体も心も保
たなっ……オオオオオっ♥ 敏感バイ揉み効く
っ♥ ヤベッ♥ 乙女バイヤベッ♥ イグっ♥
イグううううううううううっ♥」



アリスちゃん、スケベ大好き！

アリスちゃん、チンポ大好き！

挿絵…かるび

迷いの森の可愛い魔法使い、アリスちゃん。

おともの上海人形、蓬莱人形を従えて、今日もお部屋で変態コスプレふたなりチンポオナニーです。

「おっ、おっっ♥ チンポスゴイチンポスゴイチンポスゴイいいいいいい♥ チン欲ボッキ乙女マラ、快楽進んで凄すぎてエ♥ 痺れて壊れて駄目になっちゃうくらいいいんもぢい、いい、いい、いいいい♥」

けなげな蓬莱が一生懸命抱えている特製シリコンオナホール目がけて、アリスちゃんの極太男根が何度も何度も出し入れされます。あまりにも凄いい勢いなので、小さな蓬莱は吹き飛ばされないうにじっと耐えるのが精一杯でした。

ところがそのとき。恍惚の表情のまま腰をうねらせていたアリスちゃんでしたが、ふと何かに気づいたかのようにびたりと動きを止めました。

「つと、そうだわ。せつかくこんな可愛いコスプレしているのに、普段通りに少女性欲爆発ハードオナニーしたら、意味が無いじゃない。もっと特別なシチュエーションを考えないと……」

トロ顔が一転、真面目な顔でアリスちゃんはどうむむと悩み始めました。

彼女の言うとおり、今のアリスちゃんは、まるで子供向け紙芝居に出てくるような、ピンク色でフリフリひらひらとした魔法のアイドルのような

格好をしているのです。自慢の男性器も、フリル付き玉ブラショーツでかわいくオシャレ。せつかくこんなに着飾っているのだから、それを活かしたチンポ快楽を食りたいとアリスちゃんは考えたのです。

「そうね……そうね。私はマジカルアイドルアリスちゃん。日夜、世界人類の平和のために悪いやつらと戦っているの。正義の乙女マジックで、今日もファンみんなに笑顔をお届け♥ アリリン・アリリン・マガトロトロイド♥」

高速で設定を脳内で組み立て、バチツとウインクをしながら決めポーズをするアリスちゃん。上海と蓬莱は特にリアクションしませんでした。いつものことだからです。

「でも今日は、ちよつと油断しちゃって、悪の組織に捕まってしまったわ！ いやーん、アリスちゃん大ピンチ！ 迫る悪夢のちんぽ拷問器具！ マジカルちんぽこ絶体絶命！ 正義を愛する乙女の心は、強制射撃の快感で白い闇に染め上げられてしまうのかしら！ ううん、そんなことないっ、マジカルアリスちゃんとマガトロチンポは絶対に悪の洗脳調教に屈したりなんてしないんだからっ！ マジカルアイドルアリスちゃん、激動の次回へ続く！ ……というシチュエーションで、お願いね」

テンション高く百面相をしながらセリフを喋っていたアリスちゃんでしたが、最後だけ唐突に真顔になって人形たちに指示を出します。上海と蓬莱は素直に頷きました。いつものことだからです。

「それじゃあ蓬莱はいったんオナホを抜いて頂戴……お、オホッ♥ にゆるっと抜けてくっ……♥ マジカルローションぬとぬとチンポがテカテカ光っててやうらしい……♥」

アリスちゃんは外気に晒された自分の男根をうっとり見つめ、びいんびいんと上下に振ってみせます。そして一度深呼吸をすると、真剣な顔になり、キリッと空中を睨み付けます。

「ふんっ！ 私を捕まえて、どうするつもり？ 言っておくけれど、どんな拷問をしても無駄よ。あなたたちの卑劣な責め苦になんて、私は絶対に屈したりしないわ！ アリスちゃんのマジカルチンポは、どんな快感にも負けたりしないっ！」

アリスちゃんがそう言い切ったところで、上海と蓬莱は互いに顔を見合わせます。そしてこくりと頷くと、蓬莱はオナホールを大儀そうに抱え上げ、改めてアリスの男根に被せます。うんとこしよ、どっこいしょ。

「ほひっ♥ オナホ感触、さっきの体温が残ってて生ぬるい♥ わ、私のマジカルチンポを甘く見ないでっ♥ ヒダヒダ一杯のきもちいいオナホを被せられたぐらいでアへ落ちするほど、情けない早漏チンポじゃないのよっ♥ ああああ♥ でもそう言いつつ、涎が溢れちゃう♥ へひっ♥ チンコ快楽を期待して、笑顔になって腰を震わせちゃうっ♥ あっっ♥ 本当はアリスちゃんってばメスマラ快感責めに激弱なのっ♥ 乙女だから♥ 乙女だからチンポ弱い♥ はひひひひっ♥ 許して、弱いアリチンを許してっ♥ 正

アリスちゃん、スケベ大好き！

義の心よ、今こそ私の恥ずかしデカマヲを守って
エエエ

しかし、いつまでたっても蓬莱は微動だにせず、
主人の男根を半透明の淫具で責め懲ろうとはしま
せんでした。

「……あら？ どうしたの蓬莱、そろそろ動かし
てくれてもいいのよ……あ、ああ。そういうこと
ね？」

不思議そうに首を傾げたアリスちゃんでしたが、
やがて合点がいくと、にんまりとそれはそれは淫
らな笑みを浮かべました。

「くほっ くほっ アリスちゃんの敏感乙女
チンポっ こんな、オナホだけの微妙な刺激し
かされないなんてっ くふうううううっ ♡

欲求不満 ♡ 悪い欲求溜まっちゃう ♡ コリコリ
乙女キンタマに欲望溜まっちゃううううっ ♡ あ、
悪魔が、私の耳元で囁くわっ ♡ このまま腰を振
れば楽になるって ♡ カクカクフリフリ、誇りも

恥じらいも捨てて情けないセンズリオナニー腰フ
リをきめればとつてもチンポ気持ち良くなれるっ
て ♡ でもそれは、同時に正義の心を喪ってしま
うことを意味するッ ♡ だめえっ ♡ マジカルア

リスちゃん、チンポ誘惑に負けちゃだめえっ ♡
あああでも、亀頭がむずむずもじもじするよう
っ ♡ 巨タマがうずうずきゅんきゅんするよう
っ ♡ ふひっ、ふひっ、ふひいひいひいっ ♡ 誰

か助けてえっ、お願い助けてえっ ♡ 絶体絶命の
ピンチ ♡ 乙女の貞操の危機っ ♡ チンポ危機 ♡
チンポ危機イイイっ ♡

見えない誰かに助けを求めようとも、じわじわ
と駆け上る快感に抗えないのか、アリスちゃんは
終始歪んだ笑顔を浮かべたままです。

「ひ、一振り ♡ 腰を一回だけ揺らすぐらいは許
されるわよね ♡ おおっ、おおっ、おおっ、おお
っ、チンポっ、チンポっ、ふひいひいひいひいっ ♡

腰を一回ぐりんってピストンハメっこするぐらい
は偶然のうちよねっ ♡ ああっ、あ、あおっ、お
ほっ ♡ この状態でいても、先汁がだぼだぼ溢れ

て止まらない ♡ オナホのスキマから溢れ出て
きちゃう ♡ やらしすぎるチンポ涎っ ♡ こんな
焦らし攻撃されたら、普通の乙女だったらもう既

にケダモノ腰フリ変態ピストンキメまくりで欲望
随ちしているに決まっているものっ ♡ ここまで
耐えただけでもアリスちゃんは十分に正義の使徒

です ♡ 愛と勇気と平和の戦士 ♡ マジカルアイ
ドルアリスちゃんっ ♡ その誇りをちゃあんと見
せつけられましたああああ ♡ だから、だから、
ちよつとぐらいは、ね ♡ ね ♡ ね ♡ ね ♡

そう言い終わらないうちに、アリスちゃんは形
の良いお尻を後ろに引くと、音を立てて前に突き
出しました。くいつ、ズバァン！

その動作を予見していた蓬莱は、目をぐつとつ
むって全身をはね飛ばすほどの衝撃に耐えます。

「ぬひ ♡ ぬひ ♡ ぬひ ♡ ぬひ ♡ おほ ♡ お
ほ ♡ おほ ♡ おほ ♡ ぬひ ♡ ぬひ ♡ チンポしゅご

チンポしゅごチンポしゅごいいいいいっ ♡ ぬろ
ろろろってシリコン摩擦がマラ皮膚に擦れるの効
くっ、痺れるううっ ♡ 海綿体幸せ ♡ 海綿体幸

せエエっ ♡ マラハッピーっ ♡ も、も、も、も、
もう一回、もう一回、もう一回だけいいわよね ♡

ね ♡ あ、ああでも、ダメよ、一度だけのピスト
ンって約束だったものっ ♡ 正義のアイドルが約

束を破っていいわけがないわっ……そんなことを
したら、悪魔っ ♡ おおおっ ♡ チンポ随ちしち

やう ♡ 快感のために正義の心を捨て去った、変
態チンポ怪人になっちゃうわあああ ♡ ほふ、
ふっ、んほおおお ♡ でも、一度腰を振ったら、

駆けめぐるチンポの疼きがもつと強烈になっちゃ
ったあああ ♡ 余計に我慢が出来なくなっちゃっ
たあああ ♡ おっ、おっ、おっ ♡ ダメっ、チンポっ、
ダメっ ♡ ダメえええ ♡ ダメええ ♡ チンポダ

メなのおおおお ♡ 正義チンポおおお ♡
くっ ♡

アリスちゃんは頭を抱えて半狂乱です。その間
に、様子を見ているだけだった上海が、傍らから
何やら棒のようなものを抱えてもってきました。

「ふへっ!? そ、そ、それは……愛と正義のマ
ーガトロイドマジカルスティック……じゃなくっ
て……電動マッサージ機っ ♡ 河城印の強力振動

電マアア ♡ なに、なに、それで何を、何をす
るつもりなのっ ♡ え、えへ、えへ、えへ、えへ ♡
何をされちゃうのうっ ♡

もはや笑顔を隠そうともせず、アリスちゃんは
上海に期待に満ちた視線を注ぎます。

上海は主人の視線を無視すると、マッサージ機
の先端、半球形になった部分を、アリスちゃんの
精囊に押し当てます。

♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥

アリスちゃんの絶望感と興奮に満ちたセリフが一段落するまで待つて、上海は機械のスイッチをオンにしました。

途端に猛烈な振動がアリスちゃんの睾丸を襲います。上海は自分の身体にも衝撃を受けながら、両手両足でしっかりと踏ん張り、丸々と肥えた林檎のごとき主人の精巢をぐりぐりと押し上げました。

「ほううううううううっ ♡ おうっ ♡ おう
っ ♡ おうっ ♡ おううううううっ ♡ キンタマ効くキンタマ効くキンタマ効くキンタマああああっ ♡ きん
つ、キンタマあああああんっ ♡ 金玉金玉金玉
金玉キンタマがああああっ ♡ ほぐされちゃう、
睾丸性感マッサージされてっ、いやらしすぎる乙女精子っ ♡ 悪堕ちデビル精子っ ♡ 無理矢理作らされちゃうっ ♡ 精子精子精子精子っ ♡ リッ
トル単位で溜まっていつっちゃううううううっ ♡

次第にアリスちゃんはだらしなく腰を落とし、はしたないガニ股ポーズになっていきます。と同時に、腰をへこつ、へこつと振りますが、そこは蓬莱も心得たもので、オナホールを抱きしめて男根を締め付けるようにしているため、男根はホールから抜けず、結果、アリスちゃんには実に微細な刺激しか与えられません。

「あつ、あああ、あつ、あつ、あああああ♥
んな、こんな、キンタマがパンパンプリプリにな
って限界なのにつ♥ チンポ刺激ゼロ♥ 刺激
ゼロ♥ オナホに包まれているのにチンポしご
けないよおお♥ せつないせつないせつないの
つ♥ 乙女心にチンポ切なさ炸裂してるの♥
イキたいイキたいイキたい射精したいいいい♥

涙と涎と鼻水をぼろぼろこぼしながら、壊れたおもちゃのように腰を振り回すアリスちゃんでしたが、それでも彼女が求める快感は得られません。

ついにはケダモノのうめき声しか出なくなり、ひたすら睾丸に与えられる刺激を享受するだけとなってしまう。そして。

とうとうアリスちゃんの口から敗北を認める言葉が漏れました。そして、よろよろと両腕を上げると、何者かに媚びるようにピースサインを作ります。

「こんなことされたらもう正義の心なんて保てま
せええええん♥ 完全敗北♥ アリスデカマラ完
全敗北うううう♥ 悪の組織に逆らおうなんて思
った私が馬鹿でした♥ チンポに抗おうとした私
が愚かでしたああああ♥ おほ、おほ、おほっ♥
お馬鹿さんでしたああああ♥ アリスちゃん
はバカチンポ♥ アリスちゃんは大喜びで悪の手先
になりますっ♥ 悪堕ちしますうっ♥ チンポ洗



♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥ ♥

アリスちゃん、スケベ大好き！

疲れを知らないアリスの精果は、再び猛烈な勢いで白濁液を噴出する。ツンとした青臭い香りがアリスの鼻孔を満たす。

「おおおっせ♥ マジくっせっ♥ 私のザー汁マジくっせえええっ♥ んっふふふっ♥ 脳内まで淫欲に犯されるっ、あゝっ♥ 頭の中まで精子漬けエエエっ♥ チンポ好き、チンポ好き、チンポ好きすぎてヤバイっ♥ ほおおおっ おおっ♥ 七色の清楚乙女人形遣いだったころはこんなチンポ快感知らなかったああ♥ デビル堕ち最高っ♥ 最高よおおっ♥ ほっ、おっ、おっ、おっほほほほほおっおっおっ♥」

ベッドに両手を付きながら、男根に残る余韻で快楽を味わい、射精を続けるアリス。出した精液は、先ほどよりも固形分は薄くなっていったが、その分衣装の上に均等に飛び散り、薄青の衣装の隅々まで精果をこびり付けさせる。

「ひーっ、いひーっ、ふひーっ、ひひひーっ♥ 完了♥ 射精完了っ♥ ぶっかけ完遂っ♥ デビルチンポの不断努力によって、マジカルアイドルと七色魔法使いはこの世から抹消されましたアアっ♥ 悪は栄えるっ♥ 悪の天下っ♥ デビルチンポは最強なおっ♥ ほふひひひひひっ♥」

盛りの付いた犬のように腰をくねらせて射精快感を味わいながら、アリスは最後の一滴まですべて衣装に注ぎ込む。

「あゝっ♥ あ、は、あゝっ♥ あは、へっ♥

あああああゝ♥」

淫欲に満ち満ちた背徳絶頂を終えたアリスは、だらしない表情のまま喘ぎ声混じりで息を整える。さすがにアリスの肉体にも疲労が襲いかかって来たようだ。だが、股間の逸物は付けられたリングを弾き飛ばすほどの力強さで勃起し続けている。

「疲れたけれどおっ、でもまだ性欲が収まらないのっ…♥ はああああ、チンポ性欲♥ チンポ性欲♥ 悪魔の性的欲求強すぎるううううこのままじゃ二十四時間射精し続ける種付けレイプ魔になっちゃうっ♥ 最強チンポマジヤベすぎるっっっのおおっ♥ うひひひひひひひひっ♥」

と、アリスが絶望とも歓喜ともれないやらしい笑い声を上げるとほぼ時を同じくして、家のドアがノックされた。聡明な魔女、アリス・マーガトロイドはこの時ばかりは判断力を鈍らせていた。妄想の世界に浸っているアリスは、これもその延長と考えてしまう。

「は〜いどなた〜♥ 自分から私の無敵絶倫デビルマラに犯されに来るなんて殊勝ねっ、一晩中腰フリズンパン種付けサバトしてあげるうううっ♥ いらっしやあああゝいっ♥」

そう呼びかけられて、遠慮がちにドアが開く。現れたのは、アリスが見たことの無い、人間の男であった。さすがに事ここに至って、アリスは正気を取り戻す。

「えっ？ えっ、あれっ、あらっ？ こんな想定してない…っっていうかこれ現実？ え？ 迷

子になってここに辿り着いたの？ あなたホンモノ？ ホント？ え？ えーっ…っ？」

アリスは目を白黒させる。この衣装。露出した男根。匂い立つ精液。部屋中に散らばるアリスの体液。どれをとっても、アリスに一切の言い訳を許さなかった。

「ちがっ…違うの、これは違うのっ！ 誤解、誤解よ、ね？ 何もしてないっ！ 私何もしてないのっ！ これは何かの間違いなのよっ！」

何も言わない男に対して、必死になって誤魔化そうとするアリス。しかし、男が口を開き、窓からずっと思っていたと言われると、さーっとなアリスの顔が青ざめる。

「え？ 全部見ていた、の？ ど、どこから!? どこから見えていたの!? この衣装に着替えたところぐらいから？ あ、ああ、それならまだ大丈夫…っじゃないっ、十分手遅れよおおっ！ ちよ、ちよっ、ちよっこれ、これどうするの、ねえ、どうしたらいいのっ、ねえっ、ねえっ!?」

今までにないほどアリスは取り乱し、屹立しきった男根を隠すのも忘れ、顔を振って地団駄を踏む。この場をどう取り繕うべきか、この事実をどうしたら消すことができるか。アリスの憔悴しきった思考は高速で回転し始める。そして――

「ふ、ふふ、ふひひっ♥ ちよっと驚いちゃったわ、ごめんね♥ この究極淫魔女王が誕生したオラに惹かれてやってきちゃったのね♥ いいわよ、あなたに、デビルアリスにご奉仕する権利をあげるわ♥ 疲れちゃった私の両腕の代わりに、

アリスちゃん、スケベ大好き！

このデカマラをシコらせる栄光をあげるわ、有り難く思いなさいねっ♡

驚くべきことに彼女は、妄想の世界を続行することを選択した。あまりの事態に、脳が思考するのを辞めたのか——はたまた、この男さえも自分の世界に引き込むのが得策と判断したのか。ともかくアリスは復帰したばかりの正気を捨て、腰をぐいっと突き出してヌラヌラと妖しく光る剛直を見せつける。やはり面識無い相手に見せつけるのは緊張するのか腰は小刻みに震えているが、先端からは意地汚く蜜が溢れ出していた。

「ほうら私の乙女悪魔チンポにひれ伏しなさい♡いつも家で自分でしているみたいに、浅ましくさもなく磨きあげたセンズリテクで、私の少女魔羅を気持ち良くしなさいよっ♡ このチンポであなたのことをしもべとして飼ってあげるわっ♡ ほうらっ、ほらあっ♡」

と、アリスの口上を黙って聞いていた男は、彼女が腰を振って色情狂めいたアピールをし始めるに至って、無言で彼女の背後に回った。

「えっ!? ちょっ、何を勝手に後ろに、ああ、後ろからコいてくれるの♡ 私のしなやかデカマラをそのお手手でゴシゴシって抜き倒して、気持ち良くしてくれるのね♡ いいわよ、やりなさい♡」
物怖じしない無骨な男の手が、アリスの男根に触れる。

「きゅひひっ♡」
アリスは敏感に身体を震わせた。はしたなき男根に纏わり付く十指の感触。しかしまだ本格的な

摩擦は訪れない。今か今かとアリスは期待に頬を緩ませ、ついに我慢できなくなった彼女が緩やかに腰を振り始めた、その時。

「おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ おっ♡ 来た来たセンズリ来たッ♡ あースゲッ♡ これスゲッ♡ スゲーぎもちいいいい♡ 男にっ、他人に、デカチンマラをズコズコご奉仕センズリ手コキ手マンコしてもらおうの最高っ♡ 最高よおっ♡ おおっ♡ オナニーとこれ全然違うの♡ これが、これが、これがっ、オスコキっ♡ おっ♡ スゲッ♡ マジスゲッ♡ オスコキすんげっ♡ むっひひひひひっ♡ ゴりゴりって私のマラっ、デビルアリスデカチンポおっ♡ 容赦なくセンズリされてるっ♡ ひいいひいいひいっ♡ チンポぎもちええええ♡ えへえのおおっ♡ オラッ、もっとしごけっ♡ オラオラオラ♡ もっともっご主人様のご立派チンポしごけっ♡ オラアっ♡」

男が与える魅惑の快感にアリスはすっかり有頂天になり、調子に乗って腰を振り、尻を背後の男にぶつけてさらなる刺激を要求する。

「ふほっ♡ ふほっ♡ カリ首を指のリングでグリグリってされるの、のほっ♡ たまんねっ♡ デビルアリスのデビルチンポマジ絶好調♡ ほうおっ♡ 根本の方♡ 根本の方のサオ裏もゴシゴシって♡ チンポ全体をマッサージされてるわっ♡ ぐちよぐちよの小汚いチンポお♡ 男の手に委ねてマッサージされるの♡ おっ♡ おおっ♡ おおっ♡ この充足感♡」

おっ♡ チンポ最高デビル最高♡ んふっひいいいい♡ イグッ♡ イグイグイグ♡ イグううううう♡ 射精決めるっ、射精♡ あんたの手なんかでこの私が射精してあげるわよっ、嬉しい? ねえ嬉しいでしょう♡ んっふっ♡ アリスちゃんのデビルデカチン♡ 下賤の駄目人間の手で絶頂迎えてあげるわよっ♡ 有り難く私の射精姿を拝みなさい♡ オオオオオっ♡ マジイグ悪魔イグ男根悪魔オスマライグイグ♡ 絶頂♡ 絶頂♡ デビルザーメン破壊力♡ ひうううおっ♡ キンタマ来た来たあああ♡ 超イク♡ 超イク♡ うっひやはははははああああイングううううううう♡」

が、しかし。今まさにアリスが絶頂を迎えようとしたそのとき、男の手がすっと離れ、代わりに、彼女のむっちりとした汗ばんだ陰嚢を包む巾着袋の紐をつまんだ。えっ、とアリスが唖然とする間もなく、男の指先は左右に強く引っ張られ、巾着袋がぎゅうっつと縮まる。すると当然、アリスの巨大な睾丸も思い切り締め付けられ——

「ほっうううううううううっ! 何、しやがるっ、のっ、よっ♡ はぎっ♡ キンタマ死ぬキンタマ死ぬアリスのデビルデカタマ弾けて飛んじやうううううう♡ キンタマしてくれのはいいけれどもっと優しくしなさいよっ、それでも私の下僕なのっ!? え、違う……? あんたが私を下僕にする? ははっ、冗談じゃないわ、この無敵最強の悪魔チンポを持つアリスちゃんに人間

アリスちゃん、スケベ大好き！

風情が、ハギッ♥ でもやっぱりキンタマは弱点なのっ、オオオオそんなに締め付けないで苦しいッ♥ のっほおおおおおお苦しいいいいいっ♥ むっちりむっちり締め付けられオトメ金玉♥ メキメキミチミチ言ってるッ♥ おおお精巣が限界っ、精巣マジヤベッ♥ ほっ、おおっ、おっ♥ キンタマを盾に要求されたらっ♥ 悪魔でも拒めないッ♥ おおおアアアッ♥ 人間に呼び出されて不平等な契約を結ばされちゃう可哀想なドジッ子悪魔になっちゃうっ♥ いやあっ、いやああああ♥ マジカルアリスちゃんから悪魔に随ちして高位悪魔になったのにつ、人間の奴隷になっちゃうなんてイヤああああ♥ 絶対イヤああああ♥ アリスチンポは最高のもの、最高の美少女チンポなのっ♥ それがこんな、こんなっ

情けなくガニ股に開いているアリスの股間、その中央にぶら下がるレザー包みの急所に向けて、男は決断を促すように膝を軽く打ち付ける。しかしその衝撃だけで十分だった。

「ひごおおおおおおっ♥ 玉蹴りっ♥ 本能にビリビリ響いちゃうっ♥ すくむっ、身がすくむっ♥ すくむのッ、いやああ♥ 去勢されちゃう、きよ、きよきよ、去勢ッ♥ 去勢いやああ絶対イヤあああっ♥ 自慢のデカタマをダメにしないで許してエエエ♥ これ以上は許して、キンタマ許してえええ♥ はいっ、はいっ、はいっ♥ 何でもあなた様の言うこと聞きますう♥ えへへへへっ♥ 快感に負けたマジカルアイドルアリスちゃんっ、今度は恐怖に負けて奴隷落ちっ♥

あなたの忠実なチンポベツトになりますからあああ♥♥♥ だからもうキンタマやめてえええええっ♥

男はアリスの言葉を聞いて満足げに頷くと、レザー袋の上からアリスの睾丸を優しく揉みしだきはじめた。

「おお、おっ♥ 優しい♥ キンタマ優しいっ♥ キンタマの生殺与奪権を奪われた上で、もみゅんもみゅんされるの最高にゾクゾクしちゃうううう♥ おはああ♥ さっきまで生命の危機を感じていたキンタマが、おおお♥ 限界フル稼働で精子増産してる、子孫を残そうと無駄打ち子種汁ガンガン作りまくってる♥ そんなに作っても私のご主人様に全部コキ搾り出されるだけなのにつ、はひひひ♥ 惨めチンポ汁コテコテギトギト溜まっちゃうううう♥ そんな情けない自分の睾丸に、私超興奮してるっ♥ おはああ♥ 気づいたア、気づかされちゃった♥ デビルアリスはどうしようもないドマゾデビルだってキンタマ責めで気づかされたあああ♥ あひひひひひひひひ♥ きつと私のデカチンポはあなたに隷属するために存在するのおおっ♥ 私のふりふりレザー巨タマっ、あなたに謹んで差し上げます♥ 差し出しますっ♥ 献上しますうううっ♥

媚びるような猫なで声を出して、アリスは腰を落とす、男の手のひらにずっしりとした重みを掛ける。

「だからチンポ、チンポ♥ チンポ♥ してくだ

さいっ♥ 可愛いアリスちゃんのおねだり聞いてくださいっ♥ あなたに優しく包まれた金玉が、巨睾丸が♥ また馬鹿みたいに精子造り出したからっ、今すぐ出さないと、ダメ、ダメなのお♥ ダメになっちゃうんですっ♥ 手の掛かるチンポで申し訳ありません♥ こんなダメすぎデカすぎ変態チンポで宜しければ、金玉共々末永くご寵愛くださいあああいっ♥

アリスは両腕を頭の後ろに回して無抵抗の意志を示すと、泣き笑いの顔で男を振り返り、必死になつて媚びる。それが一人芝居から延長した演技なのか、それともアリスの本心であるのか、誰にも判別は付かなかった。おそらく、アリス本人でさえも。

そして、男の手が再びアリスの張り詰めた男根を掴むと、その手の動きよりも速く、アリスの腰が動き始める。

「ああっ、おおっ、ああっ、あああああっ♥ さもしく腰フリしちゃうっ♥ 旦那様にお手コキして貰えるのが嬉しすぎて自分からズッコンパッコンチン腰振りまくリッ♥ 振り子キンタマぶりゅんぶりゅん揺らしてエロ腰エロ腰チンポ腰っ♥ あひひひひひひ♥ デビルチンポ服従ううううっ♥ 変態で御免なさい♥ チンポでごめんなさい♥ ぶひひ♥ もっとシコってえええ♥ 幻想郷のポコチンに正直担当、アリス・マーガトロイドです♥ おひっ、ふひっ♥ キンタマ汁出る出るっ、イグっ♥ おセンズリの感触気持ち良すぎて悪魔ですら落ちるよおおおっ♥ アリスの



アリスちゃん、スケベ大好き！

アリスちゃん、あなたが大好き！

挿絵・嘉月

あら？ いらっしやい。ようこそ、歓迎するわよ♪ んー？ どうしたの、変な人ね。玄関先で突っ立ってないで、早く中に入っていらっしやいな。あなたは私の恋人でしょう？ 何をそんなに遠慮しているの。

え？ 先日までびりびりと機嫌が悪そうだったから、って？ あはー、あははは、あれは、ね？ 新作人形劇のキャスト制作で忙しかったから……ええ、おかげさまで、昨日で全部きっちり終わらせたわよ。そう言えばあなたにも色々雑用を手伝わせたたりしたつけ。ごめんね、慣れないことに付き合わせて。それに私も不機嫌だったから、八つ当たりも何度かしちゃったつけ……ううう。今更思い出して自己嫌悪だわ。本当にごめんなさい。気にしてない？ 新鮮で楽しかった？ あ、あは、気を使わなくてもいいのよ。え、そう、それならいいんだけど。今日はもう完全に何の予定も入れていない休養日だから、あなたが来てくれて良かったわ。

邪魔じゃないのかって？ 何を言ってるの、私はあなたのそばに居るときが、一番心が安まるんだから……♡

ちよ、ちよっと。赤くなってるないで、何とか言いなさいよ。言った私が恥ずかしくなるじゃないの、もうっ。

なっ……だからって、いきなり鼻先近づけてき

て、いい匂いがする、とか言うのは何か違わないかしらっ!? きゅん。もう。恥ずかしいなあっ……♡

ええ、そうよ、シャンブーの香りで間違いないわ。昨日の夜まで人形制作に精を出していたから、完成と同時に倒れ込むように寝ちゃって……そして昼過ぎに起きて、ついさっきお風呂に入ったところなの。我ながら自堕落だわ。

ね、ねえ、いい匂いなのは分かったけど、嗅ぎすぎじゃない？ え？ こっち向いてっ？ ちよっ、何。

んっ♡ んっ♡ んちゅ、ちゅ、ちゅ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡

ぶあ。こらっ……もう！ すぐキスをしたがるんだからっ。不意打ちはずるいってば……！ しばらくこうしてイチヤイチヤできなかったから、アリス分が不足していた？ 馬鹿なこと言わないでよっ。ふ、不足していたのは、私の方も一緒だけど……ね♡

ん？ あっ……うっ、こ、こらっ♡ 私の腰に……その、当たってるわよ……？ 何って……い、言わせないでよ！ こっちは逆に、不足しているんじゃないって……た、溜まってるのかしら？ ん。ん。ん、ん……♡ ええと……して、欲しいの？ ああもうっ、そんな勢いよく頷かないでっ！ ま、私のお仕事中は色々迷惑を掛けちゃったし……その、お詫び……というわけでもないけれど。いいわ、してあげる。

大好きなあなたの鼻ぶりを、私が責任をもって

鎮めてあげるから……♡ いっぱい、気持ち良くなって、ね♡

あ、こら。ほら、焦らないの。私がしてあげるから、あなたは何もしなくて、いいわ♡ ふふ、あなたがやらしいことを言うから……仕事明けのテンションも混じって、私もスイッチ入っちゃった♡ 今日の私は、ひと味違うわよ……

あ、と言っても、怖がらなくてもいいわよ。このスイッチは、あなたに色んな事をしてあげたいって言う、えっちなお姉さんスイッチだから、ね……♡ 年上の魔法使いのお姉さんに、あなたの男らしいたくましい性欲の処理、任せちゃいなさい……♡

はい、ジッパー下ろしちゃうわね……と、きゅっ♡ もうこの時点で、パンツがはち切れそう……って言うか、何か染みが出来てるし。こ、興奮しすぎじゃないかしらっ？ それにしても、ホント苦しうね……パンツをかき分けて、と、きゅうっ♡ すごい、弾け飛ぶように出てきた♡ はあっ……凄いわ。凄く熱い♡ まるで熱した鉄の棒を目の前にしているかのようだわ。顔がジリジリと灼けちゃう……♡ 汗がじんわりと染み出してきちゃう……♡ よっぽど、性欲を溜め込んでいたのね……♡ ちゃんと定期的にヌイてあげられなくて、ごめんね？ その分、今日はいっぱいサービスしてあげるから、許してね♡ と言っても……最後には、いつも私が許して許してっ言わされてる気がするけれど……♡ まったく、困った暴れん坊なんだから。つんつんっ♡ 私を

アリスちゃん、スケベ大好き！

いっつもヒイヒイ泣かせる、憎たらしいあなたの肉棒……♡ チンポ♡ つんつんつんつん♡ こいつめっ♡ ふふ♡

はい、それじゃあ、あなたのチンポ……これ以上興奮させる必要はないと思うけれど、まずはお口で、ね……♡ ん、少し涎を溜めて……んふうううううっ♡

じゅるっ、ずじゅるるるるっ♡ じゅぽっ♡ じゅぽっ♡ じゅぽぽぽぽっ♡ んずじゅるるるるっ♡ じゅるずじゅるるるるうう♡ じゅぽ♡ じゅぽおっ♡

どうかしら、私のフェラチオ……♡ 少しは上手になった？ あなたのオスチンポ、悦ばせてあげられてる？ ふふ、もう十分なほどですって？ お世辞が上手いんだから……♡ まだまだこれからよ。頑張って色んなテクニクを身につけたんだから、チンポ覚悟しててね♡

ふえっ!? 藪から棒にスケベとか言わないでよっ! 違うもん、私がスケベなわけじゃないもんっ……♡ ただあなたのチンポに気持ち良くなっただけだもん♡ 愛するあなたのためなら、アリスちゃんはいくらでも努力できるんだから……♡

ん、ふふ。余計なことを言ったわね。さ。何も気にせずに、今はオス欲に滾るこのやらしいチンポを、乙女の清らかな舌で舐り回される快感に集中して♡ チンポ快感をただひたすら受け止めて……♡

むぶっ、じゅるっ♡ ほら、龟头を銜え込んで、

唇でムグムグってカリ首を刺激して♡ そして手コキ♡ 根本の方をシコシコシコって♡ 気持ちいい? あは、答えなくていいわ、あなたの腰の動きで分かるから♡ ほうほうシコシコちゅっ♡ 震えるチンポ可愛い♡ 汗ばんだ男臭いあなたのチンポ先、私の涎でねろねろにしてふやかしちゃう♡ 舌でべろべろけなげに奉仕して、

光り輝くぐらに磨いちやう♡ ちゅぽっ、ちゅぽっ、ちゅぽっ、ちゅぽっ♡ んぐっ♡ 先走り苦ア……♡ しかも後から後から出てくるじゃないの、とても舐めきれないわ……♡ んぐっ……♡ それじゃこうして、少し顔を上向きにして……

んぐっ♡ ずるるるるっ♡ ずぶじゅるるるっ♡ じゅるっ♡ じゅるるるるうううう♡ 唇伸ばし顔で、ディーブスロートお♡ あん、やだ、恥ずかしい、あんまり見ないで♡ あなたに見張られてなくてもちやんとやるから、安心してえ♡

ずるずるずじゅずるるるるうううう……♡ ぶぽっ、ぶぽっ、ぶぽぽぽぽぽぽおっ♡ むぐっ!? ふ、膨らんでっ……ぶあっ♡ あっ、ちよつと、えっ!? まさか、もうイクのっ!? え、あ、違うの、ダメじゃないの、でもちよつと驚いちゃって。さすがに喉でオチンポしてあげてるときに出されたら苦しいから、そうね、ふふ♡ ペ

口射なんてどう? してみたい? はい、それじゃあ、眼を閉じて口を開けて……♡ あくん♡ べろくん♡ はあっ、あはあっ、はあっ♡ 射精寸前チンポが今私の口の前にあるんだっ……♡ 私の彼氏のやらしいオチンポが、今

か今かと汚らしい欲望を私のペロの上にぶちまける瞬間を待ち望んでるんだっ……♡ はああっ♡ はあっ、ドキドキ、ドキドキするっ♡ ドキドキしながら、あなたのチンポしゅこしゅこ手コキ♡

ドールマイスターの繊細なお手手で、ゴリッゴリに硬くなった恋人のオスマラを手コキ♡ センズリしてあげてるの♡ アリスのお口に出してエって、アリスの舌の上に濃い頂戴って言わんばかりの表情をしながら、オチンポシコシコ、シコシコ、あああ、やらしい♡ やらしいわ♡ やらしいわ♡ ああっ♡ 来るっ、熱くなった、膨らんだっ、おおおアアっ♡ はああああああうっ♡

びゅるるるるううううっ! すびゅるっ! んびゅるっ、びゅうっ、ぐびゅっ、びびゅううううっ!

んげええっ♡ お口の中に、溜まって、あぶっ、むぶっ♡ んばはああああ♡ おっ、濃い、濃い、味、濃いっ♡ ぶりぶりっとしてダマのあるような濃いザーメンっ……くはあああ♡ 精臭が鼻を突き抜けて、おおお凄いのっ♡ こんな凄いのを出されちゃうなんて、おはっ♡ し

かも、こんな沢山っ……お、オ、オ♡ とぼとぼ、注がれてるうううう♡ うひーっ……♡ 私、自分がまるで、あなたのお便所にでもなったみたいよっ……♡ 口の中に、こってりたっぷり、ギトギトザーメンっ……♡ あなたの子種汁♡ 金玉の中で作った、私のためのえっち汁♡ ん、

アリスちゃん、スケベ大好き！

んは、ああ、ああ、おはああ〜♥ はあつ……
飲んじやう、ね♥ これ、一息で、飲んじやう、
から……♥

んぐぶっ♥ んっ、んぐっ♥ ごくんっ、ごぐ
んっ、ぐびっ♥ んぐっ♥ ぶっ、はあああああ
〜♥ あうっ、精飲しちやった♥ あなたのチン
ポ汁、私、味わってじっくり飲み込んだ、
胃の中に収めちやったわ……♥ 前も何度かやっ
たけれど、ふふふ、こんなに大量だと、自分がす
っごい変態的な真似をしたみたいで……♥ 変な
気分、なっちゃやうね♥ おふうっ、まだ口の
中が落ち着かない感じ……喉も妙にイガイガす
るし、ごえっぶ♥ むぐっ、い、今のは聞かなか
ったことにしてっ！ ちょ、ちよっと、うがいし
てきていいかしら……♥

え、せっかくだからザーメンでうがいして欲し
かった？ こーらっ、調子に乗らないでっ。まっ
たくもう、いっつもいっつも常識外れなスケベ発
想ばかり考えるんだから。本気でどうしてもし
て欲しいって言うなら、ま、ええと、検討してあ
げなくもないけど……？

ほらっ、そこっ、にんまりしない！ 私がよっ
ほど機嫌がいいときに限るんだからねっ！ ああ
もう、うがいしてくるわ、いいわね。え、ダメ？
もっとザーメン味わってろ？ あそう。じゃあこ
のままあなたにディーブキスしてあげるけど、構
わないわね？ ほら見なさい、イヤでしょ。それ
じゃ、ちよっと待って……

ガラガラガラ……べっ。

ふうっ、さっぱりした。……あなたも、すつき
りできた？ って言おうとしたのに、まだピンピ
ンギンギンのまま……さっきあんなに大量に精子
排泄したのが信じられないわ。え。え。一体これ、
どうしたの？ 今まで、こんなこと無かったわよ
ね……？ 一回出すごとに、しばらく休憩を挟ん
でいたわよね？ それとも男の人って、そんなに
沢山オキンタマの中に溜め込んで居られるもんな
の……？

はあ？ 今日は私とたっぷり楽しむつもりで？
永遠亭の？ 精力剤を？ 飲んできたの？ はあ
っ……まったく、馬鹿ねえっ……♥ そんなに意
地汚くチンポ気持ち良くなりたかったの？ この
スケベ。

あ、アリスに気持ち良くして貰いたかったから、
とか、そこで私の名前を出されても、嬉しくない
わよ。ほ、ホントよ？ でも、ま、そうね。サー
ビスしてあげるって言っちゃったものね……♥
仕方ないわね、未来の旦那様の過剰な性欲も、ち
ゃんと面倒見てあげるわ……♥

それじゃ、ベッドルームに移動して、服を脱ぎ
ましようか……♥ ほら、あなたも全裸になりな
さいな、服が汚れちゃうでしょう。あ、でもどう
する？ その前に、先にシャワー浴びる？ ふふ、
そんなことより、一刻も早くまた射精したいって
顔してるわね……♥ チンポ気持ち良くなりたい
って顔してる♥ 頭の中がもうチンポチンポ射精
射精♥ って感じていっぱいなのかしら♥ 恥ず
かしい男ね♥ しょうがないわね♥

ふうっ。ん、しょっと……うう、またブラがき
つくなってきたかも……え、喜ばしい？ あなた
はそうやって無邪気に喜んでくれるけれど、せっか
くの可愛い下着がどんどん着れなくなっていくの
よ。私の苦勞も知って欲しいものだわ。それに……
きやつ♥

ほら、こうやって、えっちなことばかり仕掛
けてくる恋人が、発奮して私のおっぱいにオチン
ポ擦りつけてくるんだから……困っちゃやうわ♥
私のおっぱいが、オチンポ臭くなくてもいいの……
……？

え、ずっと臭いのはイヤだけれど、今は匂いを
擦りつけたい……？ ふふっ、わがまま♥ いい
わよ、それじゃ……服も脱ぎ終わったことだし、
あなたの大好きな、パイズリ♥ アリスお姉ちゃ
んのふかふかおっぱいに挟み込んで、むにゅむに
ゅにゅこにゅこって猛々しいオス欲を包み込んで
無力化しちゃう、パイズリ♥ してあげるわね♥
んっ……熱い♥ ほら、ほら、おっぱいを交互
に揺らしてあげる……右おっぱいが上にむにゅり、
左おっぱいが下にむにゅり♥ そしてそのまま、
オチンポ捻るようにおっぱいでぎゅーっと圧搾……

……♥ 気持ちいいでしょう？ そうよね、あなた
はおっぱい大好きだもんね♥ こういう刺激のさ
れかたって、中々経験できないわよね？

それからこうして、乳首であなたの龟头をコリ
コリって……♥ こら、逃げるな♥ 好きな癖
に♥ ほら、コリコリコリコリ♥ 匂いを付けた
いでしょ？ それじゃあいっぱいカウパー出

アリスちゃん、スケベ大好き！

して、私のおっぱいを生臭くしてくれないとね♡
気持ちいいけど、ちゃんとヌキヌキして欲しいの？ 仕方ないわね♡……♡ んっ、よいしょ♡
ほら、もう正面からあなたのオチンポを挟んであげられるのよ♡ このままぎゅーっと圧迫しながら、前後に、ぬる、ぬる……♡ オチンポのために歪んだ私のおっぱい、どう？ あなたのための、おっぱいオナホ……♡ 興奮しちゃう……？ このまま続けて欲しいって？ 分かったわ……♡

んっ、んっ、んっ、んっ♡ んっ♡ ご奉仕ご奉仕、おっぱいご奉仕……♡ あなたの大好きなアリスちゃんのおっぱいで、いっぱいオチンポ気持ち良くしてあげちゃうわ……♡ んしょ、んっしょ♡ んっ♡

私のおっぱいで、チンポ飲み込んで♡ チンポに挿入されてる♡ 時々声を上げちゃって、可愛いわ♡ 我慢しなくて良いのよ、私のおっぱいが気持ちいいって、素直に伝えて♡ アリスの縦パイズリは極上の心地だって、チンポが最高の気分だって、言って良いのよ♡

そこまですらない？ あらそ。それじゃあ、もっと頑張って言わせてみせるわ♡ ほらほらほら……にゅこにゅこにゅこにゅこ♡ 歪んだおっぱいで、チンポコキまくってあげる♡ あはっ、気持ち良さそうな声を出してる♡ 嬉しい♡

あ、また射精しそうなの？ ホント、早う……♡ そんなんで最後まで保つのかしら……♡ あは、ごめんね、イヤミのつもりじゃなかったの

よ。ほら、いっぱい、出しちゃいなさい♡ パイ射♡ パイ射なさい♡ むっちむちぬるぬるの恋人おっぱいに、あなたの欲望をぶちまけて……♡ ふふ、このままぎゅーっとおっぱい閉じてあげるから、腰を振ってチンポ快感食って♡ オナホールみたいにアっぱいをずこずこ犯していいわよ♡ 必死になってチンポの出し入れして、スケベなお汁でおっぱいをべとべとにしちやってえっ♡

でびゅるるっ！ ぶひゅうっ！ ぶひゅっ、ぶひゅ！ ぶひゅひゅうっ！

あはあっ♡ またこんなに出してっ……ひゃっ、まだ出てる♡ おっぱいの中、本当にあなたのオナホールにされちゃったわ……♡ んふっ……熱い……♡

おっぱい開いたら……わお。糸を引いてるってレベルじゃないわね、ぐちよぐちよのネットネット……♡ 私のおっぱいにこんなに射精して、どうしてくれるのかしらこの始末♡



アリスちゃん、スケベ大好き！

のっ……♡ あなたの出したザーメンで、孕ませ
ドールにされちゃううっ♡ おっ、ほ、お、お、お
おとおとおとおとおお……♡

おおっ、おとおおとおお♡ 腰フリスゴッ、す
ごい♡ 正常位で、真っ正面から抱きしめら
れながら、ズコズコ、ズコズコってっ、おとおお
おおっ♡ この、ケダモノおとおおとおお……♡

ひいっ、ひいっ、んひいひいひい♡ わ、私
も、い、イクッ、イクの、止まらなくなっちゃう
っ♡ ほひっ♡ ほっ♡ ほひひひっ♡ も、
もうやめて、もう許してっ♡ オッスゴッ♡ 凄
いっ♡ ダメっ、ダメになっちゃうっ♡ おとお
おとおお……♡

え、そう言いつつ、足を腰に絡めてきてる？ だ、
だってだってえええ♡ 私だって、き、気持ち
いいんだもおん♡ 足が勝手に、あなたを求め
るのっ♡ もっと奥にもっとチンポってっ♡ ア
リスのオンナ本能が、私を気持ち良くしてくれる
恋人チンポを絶対逃がさないようにしちゃうのお
おおっ♡ はふうううううっ♡ イグッ、イグ
ううううう♡ 涎っ、垂れちゃうっ♡ 恥ずかし
いから見ないでえええ♡ オオオオオっ♡
ひいっ♡ ふひいっ♡ あひいひい♡ お、
終わっ、たあああ♡ もうっ……壊れちゃうか
と思っただじゃないっ♡ こんなに出してえっ……
ううん、ま、その、嫌い、じゃないけれど。今日
は私がリードするって言っただじゃないのっ。
ふうっ、ふうっ、んふうっ、ふうっ、んふうう

うう♡ ああでも、久しぶりのあなたとのセッ
クス……♡ 堪能、しちゃったわ♡ はふうん
……♡ 気持ち、良かったあ……♡

じゃ、体位を変えて続けましょう……♡ 今度
こそ、私が主導権を握るわ♡ はい、膝立ちに
なって……♡ それで私は四つん這いになって……
……♡ ふふ、バックなのに、私が腰フリして♡ ご奉
仕セックス♡ してあげるわ♡

でもさすがに、この体勢で私から挿入するのは
難しいわね……♡ 悪いけれど、入れるところまでは
お願いするわ。い、いいわね？ 入れるところま
でだからね？ それ以上は動いちゃダメよ？

んっ♡ お尻掴まれて……♡ おッ、ほおおおお
ん♡ ずぼおんって入ったあ……♡ チンポハメ
られるときのこの感覚ウっ……た、た、た、たまら
ないのおお……♡

ん、でも、もう休んでいられないわ……♡ さ
あっ♡ このまま、私から……♡ お尻♡ 打ち付け
ちゃう♡ ずっぽずっぽずっぽずっぽずっぽ
て♡ あなたの好きな私の美尻で♡ チンポ食
い♡ チンポばくばく食べちゃうっ♡ うふふ
っ、我ながらやらしい真似してるわ♡ スケベ♡
スケベな腰フリ♡ ハメ付け尻フリ♡ はあっ、
はああああ♡ アリスちゃんがこんな淫乱な真
似をしてみせるのなんて、あなただけなんだから
ね……♡ 魔法の森のクールな美少女が、恋人と
のセックスで四つん這いケツ振りご奉仕してるな
んて、あはあ♡ あなたと出会う前だったら、我
ながら、絶対信じられないわ……♡

ちよつと疲れるけれど、自分のペースで気持ち
良くなれるの、いいわね、これ……♡ んっ♡
奥まで飲み込んで、ぐりぐりぐりっ♡ 真っ白い
桃のようなお尻が目の前でうねるの、見ていて楽
しいでしょう♡ オチンポがとろとろの熱いオマ
ンコに包まれて、きゅっきゅって気持ち良くされ
るの、凄い快感でしょう♡ はああ……♡

え？ 楽しいけどちよつと物足りない？ ぜ、
贅沢言うわね。って、ちよ、ちよつと！ お尻掴
まないで、動けないじゃなっ……♡ おッ……あなた
の腰、動いてっ……♡ おとおおおっ♡ ずっぽしい
いっ♡ チンポハメええ♡ だ、ダメだって言
ったでしょうっ、あっ♡ あっ♡ ズコズコ
ズコズコ、また激しく犯されてるっ♡ はああ

ああ♡ アリスマンコレイプされてるっ♡ パ
ンパンって、腰を打ち付けられて、お尻鳴らされ
てるっ、恥ずかしいよおっ♡ ひっ、ひいっ♡ ま
た来た、また来た、イグッ♡ イグううう

ううっ♡ 無理矢理絶頂させられたっ♡ また
イカされちゃう、イカされちゃうっ♡ おとおお
お♡ バックハメ♡ ケダモノセックスでっ♡
奥の奥までデカチンにグリグリされてええ♡
ああああ……♡ 彼氏セックスでイグっ、イグ
っ、イグっ、イグううううううう……♡

でびびるるるっ！ ひゅるっ、ひゅ
っ！ びびるるるるるっ！

はあああああ……♡ ああっ、ああ、あ

アリスちゃん、スケベ大好き！

ああ、あゝっ♡ あああ、あゝ♡ あはあゝ♡ ああ、ああ、はあああああゝ♡ 奥、奥にまた、出されて、イク、イクっ、絶倫チンポに、ああああ♡ イカされちゃったあああゝっ♡ 頭の中がチカチカしてるうううう……♡ はあああああ

あ♡ はあっ、ああっ、はああっ、あああ、あああ、ああ、はあ、あああああ……♡ ああもうっ……何度言わせるのよおっ……♡ あなたは動いちゃダメ、ってえ……♡ はひゅうううう……♡

つい、じゃないわよお♡ 困った人ね……♡ こうなったらもう、意地よ。ほらっ、そこに寝そべりなさいっ。そうっ。あなたはもう、その体勢のまま、絶対に動いちゃダメよ。ちよつとでも動いたら、もう今日はおしまいにしちゃうんだからっ。いいわね？

うふふ、さすがに素直になったわね♡ それじゃ、上から跨らせて貰うわね……♡ あなたのオチンポを掘んで、んゝっ、ここに誘導して……♡ はふうううっ♡ 入っ……たあ♡ はあああ♡ さっきとまた全然違うところにオチンポがグリッ♡ グリッ♡ って押しつけられて、気持ちいいいゝ……♡

アリスちゃん、スケベ大好き！

もちろん、これで終わりじゃないわよ♡ ほら、ずぼっ、ずぼって、腰を上下に振っちゃう……♡ オチンポ、めいっばい気持ち良くしちゃう♡ いのよ、あなたはそのまま、為すがままにされていて♡ 私が全自動で大好きオチンポをとるところに可愛がってあげるから♡ 膝を立てて、下品なポーズになって……♡ ほらほらほらほら♡ ずぼっずぼっずぼ♡ 髪の毛乱れさせて、汗を飛び散らせて、おっぱい揺らして♡ あなたの上で、踊ってあげる♡ 騎乗位セックスダンス♡ ずぼんずぼんって下品にメスピストン♡ 食べるように腰フリして、オチンポ食い尽くしてあげるわ♡ ♡ はあっ、はへっ、ふへっ♡ はあっ、ああっ、ああっ、はへえっ♡ いいわ、いい♡ 私もすごく、昂ぶってる♡ 腰つきが荒ぶっちゃう♡ ああああ、情熱的にくねくねズコズコ♡ 私の全身をチンポしごきあげるための道具にして、気持ち良くさせちゃうわ♡ いいわよ、いい♡ いいの♡ あなたのオチンポ汁、さもない欲望汁、いっぱい搾り取ってあげるわ♡ ♡ おおおおおー♡ おおっ、ほおっ、あああ♡ はああああ♡

はあっ、いい♡ 騎乗位セックス、気持ちいい、気持ちいい♡ ああっ、あー♡ おおああー♡ 夢中になっちゃうわ♡ あっイクツ、私イクツ、イッちゃううう♡ 全身でご奉仕セックスしながら、逆レイプセックスしながらイク♡ あなたのチンポでえっ♡ アリスちゃんイッちゃううう♡ チンポおっ♡ チンポ

チンポチンポチンポおっ♡ チンポおっ、好きいい♡♡ んうっ♡ んふううううう♡ あっ、あっ、おおおおおおおおっ♡

ビグニッ♪ ビグビグビグッ！ ビグニッ♪
ぶひゅるるるうううっ！ ひゅぐっ、ぶひゅうっ、ぶひゅっ、ほひゅううううううっ！

(終わり)

んはっ♡ あっ、はああああっ、あああ、はあっ、ああ、はひひひひひひ♡
ああっ、はあ、ああ、はああああ……♡ 滅茶苦茶、イッちゃった……♡ 合計三発もナマ中出しされちゃったわ、ふふふ♡ 子宮の中が、熱くて重たい……♡ はあっ、さすがに限界……♡ 休憩、しましょ♡ んふうっ……♡ ずぼおんって抜けたあ……♡

でも、ちゃんと私の言いつけを守って、びっくりとも動かなかったわね♡ 偉いぞ♡ 時々腰をむずむずさせてるのが、可愛かったわよ……♡ あは、馬鹿にしたわけじゃないわよ♡ 偉かったあなたに、あなたのチンポに、おつかれさまの労いフェラチオしてあげるから、ご機嫌直して♡ んっ♡ ちゅっ♡ れろっ♡ べろっ♡ ちゅるれるろ♡ れろ♡ 金玉も、ね♡ おつかれさま♡ れろん、ねろ、れろ、ねろお♡ れろれるぶちゅるるるばっ♡

うふっ、こんなことされたら、またすぐにフルボッキして、射精したくなっちゃう？ ふふ、だめ♡ 少し休むの♡ あなたを焦らして焦らし

で、またハードに犯して貰っちゃおうかしら……♡ 今日是一日中、私とのセックスに耽りましよう……♡ ね♡





アリスちゃん、スケベ大好き！

■奥付

アリスちゃん、スケベ大好き！

発行 AmBiVaLenZ (<http://fcool.sakura.ne.jp/z/>)

文章・編集： 火田 (fc_amb@fcool.sakura.ne.jp)

表紙： 嘉月

発行日 2014 年 5 月 11 日

本書の 18 歳未満の方による購読・購買を固く禁じます。
禁無断転載。



2014

AmBiVaLenZ